だけでなく、みんなそれぞれ人と同



とのちが

自由が丘東小学校

5 年

白根

カイオ

遥翔

「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品

作文 小学校5・6年生の部

優秀賞

ちのおかげだと思っています。 自分を出すことが出来ていると思い ですが、学校の友だちには明るく、 でわりと静かな方だと思っているの ぼくのせいかくはすごく人見知り この世界には、色々な人が ぼくが自分を出せるのも友だ お母さんは日本人ですが、ぼ や なことを言われ でも、それをからかわれ たり、名 ぼく

です。 ぼくのお父さんは、日系ブラジル います。

がいます。 れているなぁと日々感じています。 前で遊ばれたりしたことはありませ くの名前は周りの友だちとは少しち ん。ぼくは、すごく友だちにめぐま

んなにたくさんあります。 んありますが、今書いただけでもこ

らです。 ぞれちがうからこそぼくはおもしろ たくさんあると思うし、みんなそれ すごく悲し それをしてしまう人にはなりたくな う人がいるみたいです。 つくようなことを言ったりしてしま この世界では自分と少しちがうだ です。自分がされてしまったとき でいやがらせをしたり、人がきず 色々なちがいがあるのは当たり 自分も人とちがうところが い気持ちになると思うか でもぼくは

手な人、運動が得意な人や苦手な-ない人…。 お父さんがいない人やお母さんがい 色がちがう、かみの毛の色がちがう 例えば、肌の色がちがう、目の いがある、勉強が得意な人や苦 書き出せばもつとたくさ

悪いことではありません。 あるからこそおたがいに助け合った いきたいと思います。 け入れる心を持って には色々な人がいます。でもそれは 最初にも書きましたが、この世界

れ、ちがいを大切に「ちがって ていきます。 ぼくはこれから色々な人に出会っ 人とのちがいを受け ŧ

ます。

くはとても良い言葉だと思います。 も言われているからです。 前だし、今はそういうのを「個性」と 一人一人のちが 「個性」ぼ

り、学び合ったりできるのだと思い いをぼくは素直に受 人とつながって ちがいが

第42回 総合隣保館文化祭を開催

- ▶日時 12月7日(日) 午前9時30分~午後3時30分
- ▶場所 総合隣保館(志染町吉田823)

●プログラム	画製薬 はこうり	
午前9時30分~	開会行事	
午前10時~11時30分	記念講演「太鼓といのち~いのちを吹き込み、いのちをつなぐ~」	
午後1時~3時	舞台発表(ダンス、演奏、人権劇など)	
午後3時~	抽選会	
午前10時~午後3時30分	催物(飲食物·物販)	

その他にも関連イベントなどがあります。詳しくはホームページで確認してください。



外国人住民の偏見や差別をなくす!3つの柱

市ではヘイトスピーチなど外国人住民への偏見や差別的言動をなくすために「三木市人権尊重のまちづくり 基本計画1に掲げている3つの柱に基づき、教育・行政・地域が一体となって取り組んでいます。

人権教育・啓発の推進

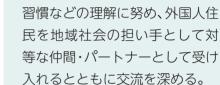
- ●市内事業所に向けて、外国人住 民の人権や多文化共生への理解 促進を進める。
- ●外国人住民に対する偏見や差別 的言動の解消のため、住民学習 会などにおいて、多文化共生の 意義について教育・啓発を実施 する。



人権行政施策の推進

- ●すべての外国にルーツをもつ子 どもが就学の機会を逸すること のないよう、就学状況の管理・ 把握に努め、就学に向けた取組 を推進する。
- ●労働関係法の遵守はもとより、 外国人労働者の人権を尊重し、 外国人労働者とその家族が安心 して生活ができるよう労働環境 の改善を働きかけるとともに、

企業が抱える問題 や課題に対する支 援に努める。



人権尊重のまちづくりの展開

●日本人住民は、外国の文化や生活

●外国人住民は必要な日本語習得、 日本の文化、生活習慣や地域社会 のルールについて学習するとと もに、地域住民の一員として、日 本人住民とともにさまざまな活 動に参画し、地域社会に貢献でき

るよう努め







外国人住民が安加して暮らせるまちをめざして

~地域住民・各種団体・企業・行政などが一体となって支える取組~

誰もが安心して生活できる地域づくりを進めるため、令和6年3月に「三木市多文化共生推進プラン」を策 定しました。行政だけでなく、地域住民・各種団体・企業など、多様な主体が連携しながら実践する"チーム 三木"の取組が、市内各地で広がっています。

↑チーム三木で進める取組の一部を紹介 /

地域で理解を深める「学びの場

住民学習

自治会ごとに内容を工夫した学習会を開き、外国人住 民と地域住民がお互いの違いを認め合い、ともに尊重し 合うための意識の高揚を図り、共生のまちづくりにつな げています。

困ったときに気軽に相談できる窓口

外国人住民相談窓口

外国人住民が日常生活の中で困っていることや知りた いことを相談できるよう、「やさしい日本語」や多言語で 対応する窓口を設けています。生活の不安を解消し、地 域での安心につなげています。

・安心して暮らすためのコミュニケーションの活性化

「やさしい日本語」での窓口対応・生活オリエンテーション

市で新たに生活を始めた外国人住民などを対象に、企 業などと連携して、行政サービスをはじめ、地域で生活す る上で必要なルールや習慣などを説明し、安心して生活 するためのサポートをしています。

文化や言葉を越えてつながる機会を創出

交流イベント

文化や言葉の壁をこえて地域で交流できるイベントを 開催しています。セミナーや料理教室などの外国のさま ざまな文化にふれるイベントや地域行事などを通じて、 外国人住民と地域住民がつながり、互いを理解し合う きっかけをつくっています。

まずは私たちにできることから。小さな思いやりを積み重ねて、誰もが安心して暮らせるまちを 共につくっていきましょう。